

シンポジウム

「われわれ」と「不気味な他者」 —ハイデガー／デリダをめぐって—



"We" and "The Uncanny Other": on Heidegger/Derrida

2024年7月5日（金）15時～18時

立命館大学 衣笠キャンパス 平井嘉一郎記念図書館 カンファレンスルーム

講演① ペター・バヤーニッチ（ベオグラード大学哲学教授）

「解体 II・ハイデガーにおける集団の構築——未来の戦争への序論」

Petar Bojanić (Full Professor of Philosophy at the University of Belgrade)

Destruction II. Construction of Group in Heidegger. Introduction to Future War

講演② サミュエル・ウェーバー（ノースウェスタン大学アヴァロン基金人文学教授）

「不気味な他者（まったき他者はけっしてまったく他者というわけではない）」

Samuel Weber (Avalon Foundation Professor of Humanities at Northwestern University)

The Uncanny Other: (Tout Autre n' est Jamais tout Autre)

オーガナイザー：亀井大輔（立命館大学）、長坂真澄（早稲田大学）、宮崎裕助（専修大学）

主催：科研費・基盤 B「20 世紀フランス思想におけるハイデガーとベンヤミンの受容史の解明」、立命館大学文化現象学研究センター／人文科学研究所、脱構築研究会

英語使用（講演の日本語訳配布）簡易な通訳あり 入場無料 事前登録なし 対面のみ（配信なし）

